

事務事業実績測定調査

事務事業名称	交通安全施設整備事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名		4-2.交通安全対策の充実									
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス		特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	不明			年度	~			年度まで				
根拠法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、交通安全対策特別交付金等に関する政令											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	歩行者、車両等問わず、該当道路を通行される方										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	交通事故が発生する										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	道路環境が整備され、歩行者、自転車、バイク、車両の交通事故がなくなる。											
事業概要	地元の要望等により、地域の交通環境の実態を調査し、地元の意向を踏まえて適切な交通安全対策を立案する。立案した交通安全対策に基づき、道路柵などの交通安全施設の新設を行うとともに道路反射鏡や区画線の新設、更新を行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)																																											
	道路環境が整備され、歩行者、自転車、バイク、車両の交通事故がなくなる。	立案した交通安全対策に基づき、交通安全施設の新設及び区画線の新設、更新を実施。	地元の要望等に応じて、実態の調査及び適切な交通安全対策を立案する。																																											
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数	立案した交通安全対策に対する整備完了率【算出式:整備完了件数/立案件数×100】	交通安全対策の立案件数																																										
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,100</td> <td>1,050</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>1,080</td> <td>1,088</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	1,150	1,100	1,050	1,000	1,080	1,088			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>73</td> <td>75</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	80	80	80	80	73	75			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>403</td> <td>311</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	500	500	500	500	403	311		
	単位	件																																												
	R2	R3	R4	R5																																										
1,150	1,100	1,050	1,000																																											
1,080	1,088																																													
単位	%																																													
R2	R3	R4	R5																																											
80	80	80	80																																											
73	75																																													
単位	件																																													
R2	R3	R4	R5																																											
500	500	500	500																																											
403	311																																													
達成度	99%		94%		62%																																									
分析	これまで実施してきた、交通安全施設の整備や市民への交通ルールやマナーの周知が進んだことが、事故件数の減少につながったと思われる。		単年度整備が難しい案件などがあるが、可能な限り早急な整備を行った。		全ての要望に対し、安全対策案の提案を行った。要望は例年より減少。																																									

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,224	17,465	16,222		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	11,224	17,465	16,222		
	物件費計	54,556	98,064	54,155	57,001	—
	歳出計	65,780	115,529	70,377		
歳入	国庫支出金	49,116	15,000	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	29,400	0	0	
	その他	0	53,441	52,392	53,000	
		歳入計	49,116	97,841	52,392	53,000
	一般財源	16,664	223	1,763	4,001	

5. 総括的分析

総括的分析 全ての要望に対し、早急に調査し、要望の可否または代替案の立案を行い、要望者に対し提案を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	可能な限り、交通安全対策の早急な整備を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	めいわく駐車防止事業													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業	
事業期間	1995 (H7) 年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	枚方市めいわく駐車防止に関する条例													
関係補助金名称												サンセット		-
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方市駅周辺の道路を通行する歩行者及び自転車利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		迷惑駐車により通行が妨げられている。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	めいわく駐車台数がなくなり、スムーズな道路等の通行ができています。													
事業概要	枚方市駅周辺の「重点地域」において交通指導員2人を配置し、めいわく駐車をしようとする者に指導・助言及び啓発を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	めいわく駐車台数がなくなり、スムーズな道路等の通行ができています。				めいわく駐車をしようとする者及び現にしている者に対し、指導・助言及び啓発を行う。				枚方市駅周辺を対象に、交通指導員による、めいわく駐車防止活動を実施する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		悪質・長時間駐車台数		指導・助言及び啓発件数		めいわく駐車防止活動延べ日数							
	指標種類		減少することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	0	0	0	4,800	3,500	3,400	3,300	137	137	137	137
	実績		1	1			6,958	5,451			120	93		
達成度						44%				132%				
分析		これまでのめいわく駐車指導の徹底により、悪質・長時間駐車指導件数はほぼゼロになった。				継続した取組に伴い件数は減少しているものの、コロナ禍もあり、自動車利用は増加していると推測。				実施日を、奇数月と偶数月で変更する等、効率的・効果的なめいわく駐車防止活動を実施することで、延べ日数を押さえた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.28
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,165	2,233	2,200		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,165	2,233	2,200		
	物件費計	9,453	9,372	8,015	8,102	99%
	歳出計	11,618	11,605	10,215		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	11,618	9,372	8,015	8,102	

5. 総括的分析

総括的分析	めいわく駐車への指導巡回により、駐車台数は減少してきており、悪質な長時間駐車1件のみにとどまった。引き続き、枚方市駅周辺のめいわく駐車防止に努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も、効率的・効果的なめいわく駐車防止活動を実施し、スムーズな道路通行に寄与する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	岡東町自動車駐車場施設維持管理事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	1994(H6)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	枚方市自動車駐車場条例及び同施行規則										
関係補助金名称							サンセット	-			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		枚方市駅周辺の店舗等の利用者、枚方市駅から公共交通機関に乗り換えの利用者等								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		枚方市駅周辺には、駐車場をもたない店舗や医院等が多く、これらの店舗等を利用する際に駐車する場所がない。また、店舗等の前に駐車すると迷惑駐車になる。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方市駅周辺において駐車でき、枚方市駅周辺の迷惑駐車がなくなる。										
事業概要	岡東町自動車駐車場(収容台数 自動車 241台(定期160台・一時81台)・自動二輪車 64台(定期49台・一時15台) 立体自走式6層(地下1階、地上4階)鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 敷地面積2,100.21㎡、建築面積1,578.91㎡、延床面積7,387.74㎡の施設の運営と維持管理。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						岡東町自動車駐車場の適切な維持管理により、めいわく駐車が無くなり、周辺の交通が円滑に流れている。				岡東町自動車駐車場の施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検の実施回数				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	日標(見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
	実績						63	82			12	12		
達成度									100%					
分析					市有建築物保全計画に基づく、施設の保全工事費用及び修繕費用が予定より減少など、効率的な施設運営を行うことができた。				指定管理者による定期的な点検を実施し、予防保全的に修繕を実施し、利用者に不便をかけることなく施設運営を行うことができた。					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,570	3,589	9,428		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	57	0		
	人件費計	4,570	3,646	9,428		
	物件費計	267,595	228,446	193,851	248,000	94%
	歳出計	272,165	232,092	203,279		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	79,925	82,480	98,990	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	50	1,889	149,010	
	歳入計	0	79,975	84,369	248,000	
	一般財源	272,165	148,471	109,482	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、緊急事態宣言の発令はあったものの、年度後半からは新型コロナウイルス感染拡大状況が落ち着き、使用料収入は前年度より多少増額となった。 また、新しい生活様式への対応として、令和4年度から事前精算機やキャッシュレス化の導入が決定し、利用者の利便性向上が図られ安全・安心な施設運営に寄与した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	キャッシュレス化や事前精算機の導入が進むことで、利用者の利便性向上が図られることで、めいわく駐車場の減少を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	開発交通関係協議・指導事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	交通対策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業					
事業期間	2005(H17)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例及び同施行規則										
関係補助金名称						サンセット					
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	開発地域の周辺に居住する市民									
	サブターゲット	開発行為等を行う予定の事業者									
	ターゲットが抱える課題	開発による交通の流れの変化に伴う事故の発生やめいわく駐車増加がある。									
	ターゲットが抱える課題	工事車両による事故が発生する。									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	適切な開発指導により、工事車両による事故や開発による交通環境の変化による事故やめいわく駐車が発生せずに住民が安心して暮らしている。										
事業概要	開発行為等の申請に対して、交通安全施設・自動車駐車場・自転車置場等の設置及び工事期間中の工事車両等の安全対策について協議・指導を行う。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						各申請に対し、適切に協議・指導を実施する。				開発行為等の申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明					申請に対する協議・指導率 【算出式: 協議・指導件数 / 申請受付件数 × 100】				開発行為等の申請件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	300	300	300	300
	実績					100	100			246	347		
達成度					100%				116%				
分析					全ての申請に対し、協議・指導を完了した。				申請件数は年度により増減あり。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,093	6,380	6,262		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,093	6,380	6,262		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	6,093	6,380	6,262		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,093	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 全ての申請に対し、遅滞なく審査を行い、協議・指導を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請に対し、遅滞なく協議・指導を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													交通安全啓発事業			
測定年度		2021(R3)年度				部		土木部				課		交通対策課		
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち												
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち												
		実行計画名		4-2.交通安全対策の充実												
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス				特性		選択的事业				区分		一般事務事業		
事業期間		不明				年度		~				年度まで				
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		公共の場を通行する市民												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		交通ルールやマナーの遵守について学んだり触れたりする機会が少ない。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市民等が交通ルールやマナーの遵守や理解を深めて、交通の秩序を維持することが、交通事故を防止する役割であることを認識することにより交通事故をなくし、安全な交通社会を実現できている状態。														
事業概要		<p>交通事故を1件でも減らすように、以下交通安全啓発活動等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春、秋の全国交通安全運動(啓発パレード、駅前キャンペーン、自転車マナーアップキャンペーン) ・交通安全市民大会(市民) ・子どもの交通安全教室(保育所・幼稚園・小学校) ・交通安全運転講習会(市民) ・高齢者自転車教室 														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		市民等が交通ルールやマナーの遵守や理解を深めて、交通の秩序を維持することが、交通事故を防止する役割であることを認識することにより交通事故をなくし、安全な交通社会を実現できている。				市民が、交通安全に関して触れる機会が増える。				交通安全啓発活動等を実施する。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		市内の交通事故発生件数		交通安全教室参加人数		交通安全教室開催数								
		指標種類		減少することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5								
		達成度		101%		30%		35%								
		分析		これまで実施してきた、交通安全施設の整備や市民への交通ルールやマナーの周知が進んだことが、事故件数の減少につながったと思われる。		新型コロナの影響で全開催には至らなかったが、下半期には、交通安全教室を実施することができた。		新型コロナの影響で全開催には至らなかったが、下半期には、交通安全教室を実施することができた。								

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.91
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,620	6,460	7,150		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	672	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,620	7,132	7,150		
	物件費計	8,588	1,330	5,146	10,022	52%
	歳出計	18,208	8,462	12,296		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	18,208	1,330	5,146	10,022	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、保育所(園)・幼稚園の交通安全教室や、春と秋の全国交通安全運動や交通安全市民大会などの市民への交通安全啓発活動は中止となったが、小学校(歩行・自転車)の一部と中学校(スケアードストレート)への交通安全教室を実施することはでき、交通啓発を推進することができた。
 そのため、保育所(園)や幼稚園への交通安全啓発DVDの貸し出しや、交通安全啓発チラシを配布するなど、形を変えた交通啓発活動を実施し、交通ルールやマナーの周知に努めた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナの感染状況を見守りながら、今後も交通安全啓発活動を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														交通対策協議会補助事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		土木部				課		交通対策課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																							
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		1967(S42)年度				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称		枚方市交通対策協議会補助金						サンセット		2020(R2)年度		-		2022(R4)年度													
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		枚方市交通対策協議会																							
		サブターゲット		公共の場を通行する市民																							
		ターゲットが抱える課題		交通対策協議会は、法令により設置を各市町村に設置が促されている。																							
		ターゲットが抱える課題		交通対策協議会の活動には経済的な負担がある。																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		交通対策協議会への支援を行うことにより協議会の取り組みが充実し交通事故のない社会が実現している。																									
事業概要		<p>校区コミュニティ、地元自治会、地域団体と連携し各種交通安全啓発を行う。</p> <p>1. 春・秋の全国交通安全運動 2. 交通安全大会…枚方市交通安全市民大会 3. 交通安全立看板の設置等</p>																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		交通対策協議会への支援を行うことにより協議会の取り組みが充実し交通事故のない社会が実現している。				交通対策協議会の活動活発化により、市民が交通安全に関して触れる機会が増える。				交通対策協議会の啓発活動に対し、補助金にて支援する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		指標説明		市内の交通事故件数		交通対策協議会が実施している啓発事業に対する参加者数		交通対策協議会が実施している交通安全対策の啓発事業件数																			
		指標種類		減少することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標																			
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5																			
		達成度		101%		80%		44%																			
		分析		これまで実施してきた、交通安全施設の整備や市民への交通ルールやマナーの周知が進んだことが、事故件数の減少につながったと思われる。		令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、目標値よりは低くなったものの、状況を見極め、交通安全対策の啓発を実施することができた。		令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、目標値よりは低くなったものの、状況を見極め、交通安全対策の啓発を実施することができた。																			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.28
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,325	2,233	2,200		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	2,325	2,233	2,200		
	物件費計	10,402	10,235	9,203	10,400	88%	
歳出計		12,727	12,468	11,403			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		12,727	10,235	9,203	10,400		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベント関係はすべて中止となったが、春・秋の全国交通安全運動に伴う小学生の登下校時の立番指導は実施し、登下校時の注意する交通安全マナーやモラルを教えることができた。 また、交通啓発の質を維持するため、交通対策協議会校区支部を通じて、交通安全啓発チラシを配布する等、ルールやモラル教育の徹底を図った。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルスの感染状況を見守りながら、次年度も交通安全啓発活動を継続して実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														放置自転車等管理事業													
測定年度				2021 (R3) 年度				部		土木部				課		交通対策課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																							
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		内部管理				特性				内部事務				区分				一般内部管理事務									
事業期間		1987 (S62) 年度				年度		～		年度まで																	
根拠法令等		枚方市自転車等の放置防止に関する条例及び同施行規則等、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域を通行する人																							
		サブターゲット		鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の所有者																							
		ターゲットが抱える課題		鉄道駅周辺に放置自転車等があり、通行者の妨げとなっている。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		放置自転車等を移送し保管場所において保管することにより、鉄道駅周辺をスムーズに通行することができている。また、保管自転車についても所有者への返還までの間適切に管理できている。																									
事業概要		鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の保管及び返還を行う。また、引取りのない自転車はリサイクルや売却処分を行う。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
						保管している放置自転車等について、適切に返還を実施し、引取りのない場合はリサイクルや売却処分を実施する。				鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域から移送した放置自転車等の保管を行う。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		指標説明				放置自転車等返還台数				放置自転車等の保管台数																	
		指標種類		単位		単位		台		単位		台															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5									
		実績										1,900		1,800		1,700		1,600									
		達成度										1,232		816													
分析						放置自転車の台数が減少したため、実績が少なくなったと考えられる。				放置自転車の台数が減少したため、実績が少なくなったと考えられる。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,447	3,748	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	120	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,447	3,868	3,929		
	物件費計	9,609	10,314	9,021	8,876	102%
	歳出計	13,056	14,182	12,950		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	1,076	686	1,554	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	287	199	272	
		歳入計	0	1,363	885	1,826
	一般財源	13,056	8,951	8,136	7,050	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの感染拡大の影響はあるものの、放置自転車の撤去・移送台数が減少したため、保管台数や返還台数が全体的に減少したものと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、放置自転車等の適正な保管および売却手続きを行い、効率的な管理運営を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													放置自転車対策事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		土木部			課		交通対策課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち												
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち												
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業				
事業期間		1987(S62)年度			年度		~				年度まで					
根拠法令等		枚方市自転車等の放置防止に関する条例及び同施行規則等、自転車の安全利用の促進および自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		鉄道駅周辺の自転車等放置禁止区域を通行する人												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		放置自転車により円滑な通行が妨げられることにより、交通安全の確保、災害救援の通行機能に支障が生じる。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		交通安全の確保、災害救援の円滑化及び通行機能の維持を図り、もって良好な都市環境を保持する。														
事業概要		鉄道駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車、原動機付自転車(50cc以下)の指導・警告・移送業務を行う。(13駅:樟葉駅、枚野駅、御殿山駅、枚方市駅、枚方公園駅、光善寺駅、香里園駅、宮之阪駅、星ヶ丘駅、村野駅、長尾駅、藤阪駅、津田駅周辺)														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		交通安全の確保、災害救援の円滑化及び通行機能の維持を図り、もって良好な都市環境を保持する。				放置禁止区域内での放置自転車等に対し、適切に指導・警告・移送を実施する。				自転車等放置禁止区域を対象に、放置自転車・原動機付自転車の対策事業を実施する。						
指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		放置禁止区域内からの移送台数				放置禁止区域内で放置自転車等の指導・警告を行った台数				対策事業の延べ実施日数 (枚方市内の鉄道駅13駅周辺にて各々実施した日数の合計)						
指標種類		単位				単位				単位						
		台				台				日						
指標数値		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標						
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
目標(見込み)		1,900	1,800	1,700	1,600	12,000	11,900	11,800	11,700	1,600	1,600	1,600	1,600			
実績		1,012	681			10,879	7,086			1,293	1,026					
達成度		162%				140%				136%						
分析		新型コロナウイルスの影響も多少あるものの、長年の継続的な活動により、減少が進んだものと考ええる。				新型コロナウイルスの影響も多少あるものの、長年の継続的な活動により、減少が進んだものと考ええる。				効率的・効果的な放置自転車対策となるよう、奇数月と偶数月で実施する曜日を変更し、対象事業の延べ実施日数を減らすことができた。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.58
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,093	4,865	4,557		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	480	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,093	5,345	4,557		
	物件費計	41,135	36,903	29,219	32,648	89%
	歳出計	47,228	42,248	33,776		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	47,228	36,903	29,219	32,648	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、放置自転車の台数が少なかったことはあるものの、長年継続して事業を実施した結果、移送・指導台数の減少につながったものと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、効果的、効率的な放置自転車対策を進めていく

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方交野交通安全協会補助事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性				選択的事业		区分		一般事務事業	
事業期間	不明				年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称	枚方交野交通安全協会補助金						サンセット	2020(R2)年度		-	2022(R4)年度			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方交野交通安全協会											
	サブターゲット		公共の場を通行する市民											
	ターゲットが抱える課題		枚方交野交通安全協会が実施する交通安全指導を含めた交通安全の啓発に関する取り組みについては、経済的な負担がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	交通安全の啓発に関する連携を行うことにより、市民の交通安全に対する意識が向上し、事故のない社会が実現できている。													
事業概要	枚方警察署・交野警察署と連携し各種交通安全啓発活動(①各種交通安全運動広報啓発活動②各種交通安全教育活動③市民参加による交通安全行事④交通安全功労者等表彰等)を行う。													

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		交通安全の啓発に関する連携を行うことにより、市民の交通安全に対する意識が向上し、事故のない社会が実現できている。				補助金による、各種活動の活発化により、市民が交通安全に関して触れる機会が増える。				枚方交野交通安全協会の各種交通安全啓発活動に対し、補助金にて支援する。			
指標設定	指標説明	市内の交通事故件数				各種啓発事業に対する参加者数の合計				枚方交野交通安全協会が実施している交通安全啓発事業件数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	単位		件		単位		人		単位		件	
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	1,150	1,100	1,050	1,000	2,800	2,800	2,800	2,800	33	33	33	33
	達成度	1,080	1,088			0	7			0	1		
分析	101%				0%				3%				
分析	これまで実施してきた、交通安全施設の整備や市民への交通ルールやマナーの周知が進んだことが、目標値を下回る結果につながったと思われる。				令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、交通事故被害者慰霊碑の清掃と献花のみ実施し、その参加者数となった。				令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、交通事故被害者慰霊碑の清掃と献花のみ実施した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,165	2,153	2,121		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,165	2,153	2,121		
	物件費計	3,048	827	882	2,500	35%
	歳出計	5,213	2,980	3,003		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	5,213	827	882	2,500	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、交通事故犠牲者慰霊碑の清掃と献花のみを実施し、その他の交通安全啓発活動が中止となり、実績を上げることができなかったが、交通安全協会が年9回発行する広報誌で、交通ルールやマナーの周知啓発を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルスの感染状況を見守りつつ、次年度も市民への交通安全啓発を継続して実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	有料自転車駐車場施設維持管理事業															
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部			課	交通対策課						
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち													
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		一般内部管理事務				
事業期間	1987(S62)年度				年度	~		年度まで								
根拠法令等	枚方市自転車駐車場条例及び同施行規則															
関係補助金名称								サンセット		-						
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		鉄道駅まで自転車を利用する人													
	サブターゲット															
	ターゲットが抱える課題		鉄道駅まで自転車を利用する人が駐輪できる場所がない													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	駐輪場の維持管理を行うことで放置自転車がなくなり、周辺の通行がスムーズにできている。															
事業概要	鉄道駅13駅の周辺にある20箇所の有料自転車駐車場の運営を指定管理者により行う。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
					有料自転車駐車場施設の適切な維持管理により、放置自転車がなくなり、周辺の通行がスムーズにできている。				有料自転車駐車場施設の施設保全や保守点検等を行う。							
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	指標説明				各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検の実施予定回数							
	指標種類		単位		単位		%		単位 回							
	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	目標(見込み)				100以内		100以内		100以内		100以内		12		12	
	実績				97		100				12		12			
達成度																
分析						令和3年度は指定管理者の効率的な管理運営により、当初予算額内で維持管理運営を実施した。				指定管理者による定期的な点検を実施し、予防保全的に修繕を実施し、利用者に不便をかけることなく施設運営を行うことができた。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.73
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,249	5,024	5,736		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,249	5,024	5,736		
	物件費計	285,990	300,232	320,591	325,721	98%
	歳出計	290,239	305,256	326,327		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	307,023	242,201	250,500	300,042	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	307,023	242,201	250,500	300,042	
	一般財源	▲ 16,784	58,031	70,091	25,679	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和3年度は、使用料収入について新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、前年度より微増した。しかし、新しい生活様式の定着から、コロナ前の使用料収入の戻るのは困難と考える。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令されたことから、学生を対象に5月分の自転車駐車場の定期券利用者を購入し利用しなかった方を対象に、定期利用料の還付を行う救済措置を実施した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度も、利用者ニーズの把握に努め、安全・安心な施設運営を継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	バス走行環境整備事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち											
	実行計画名		5-1.公共交通環境の整備											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	2001(H13)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		(公共交通機関として)バス利用する方											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		道路によっては円滑なバスの走行に適していない場合がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	バス停での離発着しやすい道路環境を整えることで、バス走行に適した道路環境となり、公共交通機関としてのバス利用促進と利便性の向上が図られている。													
事業概要	円滑なバス走行に適応すべくバス停での離発着しやすい道路環境を整える。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	バス走行に適した道路環境を整備することで、公共交通機関としてのバス利用促進と利便性の向上が図られている。				各種要望に対し、適切に処理する。				バス事業者等から改良要望等を受け付ける。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	バスの走行環境に対する市民・バス事業者等の満足度 【算出式: 対応箇所に対する走行環境が改善されたと感じた人数 / 調査人数 × 100】				各種要望に対する対応率 【算出式: 対応件数 / 要望件数 × 100】				改良要望等の受付件数					
	単位				単位				単位					
	%				%				件					
	指標種類				増加することが良いとされる指標									
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)		80	80	80	80	100	100	100	100	2	2	2	2	
実績		80	-			100	-			2	0			
達成度														
分析		走行環境に対する要望、対応は行っていないため、調査は行っていない。				走行環境に対する要望がないため、対応率への反映が出来なかった。				走行環境に対する要望はなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	561	2,871	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	561	2,871	1,571		
	物件費計	0	5,120	28,720	28,720	—
	歳出計	561	7,991	30,291		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	561	5,120	28,720	28,720	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度について、市で対応する走行環境の改善に関する要望は受けていないが、バス事業者独自で施工するバス停の新設・改良に対する関係機関協議等について、停滞することのないよう技術協力等をした。
 また別途、コロナ禍における運行継続支援を行い、令和4・5年度の猛暑対策としてのバス待ち環境改善に向けての協議を進めた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	バス待ち環境を含む走行環境改善の事業を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														
公共交通利用促進(モビリティ・マネジメント)事業														
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部			課	交通対策課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち											
	実行計画名		5-1.公共交通環境の整備											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分		一般事務事業		
事業期間	2018(H30)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	都市・地域総合交通戦略要綱													
関係補助金名称								サンセット						
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		全世代の市民、来訪者											
	サブターゲット		市内で営業している公共交通事業者、企業など											
	ターゲットが抱える課題		公共交通利用者の減少による、公共交通網の減便や廃止などが利用者の利便性に影響を及ぼす。											
	ターゲットが抱える課題		公共交通の利用者の減少は交通事業者の収益を減らすなど、経営に影響を及ぼすため、運転手不足などの慢性的な課題解消が難しくなり、更なる減便や廃止が進むだけでなく、その他のサービス低下も懸念される。											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	みんなで交通について考え、支えていくことで、将来も公共交通網が維持され、外出しやすい環境が整った状態。													
事業概要	過度に自家用車に依存することなく、多様な交通手段を選択することができるように、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通の利用を促進し、持続可能な交通機能を確保する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	イベント参加後に、参加者の公共交通を利用する回数が増える。				公共交通利用促進イベントの実施に市民等が参加する				ひらかた交通タウンマップの更新及び広く市民へPRする					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		アンケート調査による電車やバスに乗る回数が増えた人の割合 【算出式:アンケート調査にて「電車やバスに乗る回数が増えた」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				公共交通利用促進イベントの参加者数				ひらかた交通タウンマップを使った公共交通利用促進イベントの実施回数			
			単位		%		単位		人/年		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		40	40	40	40	600	600	600	600	2	2	2	2
	実績		0	29.40			96	417			1	1		
達成度		74%				70%				50%				
分析		イベント参加者の公共交通を利用する回数について、約3割は増えたが7割近く変わらないと回答している。				実施期間を設けるなど手法を変えることで、1回ではあったがコロナ禍でイベントを実施し、多くの方の参加があった。				コロナ禍であり、密となる1日イベントではなく、期間を設けたことで、回数は1回となったが、参加人数が大幅に増加した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,726	3,519	4,321		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,726	3,519	4,321		
	物件費計	1,495	1,150	1,185	1,375	98%
	歳出計	4,221	4,669	5,506		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	4,221	1,150	1,185	1,375	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍で外出自粛などもありイベントとしては1回の実施にとどまったが、密を避けるため実施期間に幅を持たせる工夫をしたことで、多くの方に参加をしていただき、公共交通利用促進啓発を進めることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	公共交通の利用促進に向けたイベント、啓発を強める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	交通対策課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	交通対策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理				特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	不明				年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称											サンセット			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		交通対策課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		交通対策課所管事務の分担											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	交通対策課所管事務の円滑な執行													
事業概要	交通対策課の予算及び決算に関する事務、物品の契約及び購入に関する事務、文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務、各委託事業、補助金等の支出及び使用料の調定に関する事務を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
	指標説明		単位			単位			単位					
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.85
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,642	6,779	6,678		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	19,642	6,779	6,678		
	物件費計	578	576	296	530	57%
	歳出計	20,220	7,355	6,974		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	20,220	576	296	530	

5. 総括的分析

総括的分析 職員間での業務の振り分けを、効率的・効果的に実施でき、円滑に事務処理を進めることができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も適切な事務処理を維持していく。